

申告書の書き方

令和7年度分 市民税・県民税申告書

処理欄

能美市長あて
令和 年 月 日 提出



住所	能美市来丸町1110番地												
(7年前)現在の住所	同上												
個人番号	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	生年月日
フリガナ	ノ ミ タ ロウ												
氏名	能美 太郎												
	明・大(昭)平・令 32年10月10日生												

整理番号	
自宅・携帯電話番号	0761 - 58 - 4444
世帯主の氏名	能美 太郎
世帯主との続柄	本人

③ 所得から差し引かれる金額に関する事項

⑬ 社会保険料控除	社会保険等の種類	支払った保険料	円	
	国民健康保険	146,000	円	
⑮ 生命保険料控除	新生命保険料の計	旧生命保険料の計	円	
	円	96,000	円	
	新個人年金保険料の計	旧個人年金保険料の計	円	
	円		円	
⑯ 地震保険料控除	介護医療保険料の計	円		
	円			
⑰～⑱ 本人控除	地震保険料の計	旧長期損害保険料の計	円	
	25,000	円		
⑲ 障害者控除	□ 寡婦 □ 死別 □ 生死不明 □ 離婚 □ 未帰還 □ ひどい親 □ 勤労学生 (学校名)	氏名	能美 はる	
	個人番号	2,3,4,5,2,3,4,5,2,3,4,5	障害の程度	身1級
⑳ 配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者	配偶者の氏名	生年月日	明・大(昭)平・令 38:10:10	
	能美 はる	配偶者の合計所得金額	0 円	
㉑ 扶養控除 (配偶者以外)	氏名	能美 花子	続柄	子
	個人番号	4,5,6,7,4,5,6,7,4,5,6,7,8	生年月日	明・大(昭)平 59:7:7
㉒ 親族(控除対象外)の扶養	氏名	能美 次郎	続柄	子
	個人番号	5,6,7,8,5,6,7,8,5,6,7,8	生年月日	平・令 24:9:9
扶養控除額の合計		330,000 円		

別居の扶養親族等がある場合には、裏面に氏名、個人番号、住所及び国外居住者である場合は区分を記入してください。

㉓ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類等
	損害金額	円	円
㉔ 医療費控除	支払った医療費等	円	円
	円		円

セルフメディケーション税制を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の□に「1」と記入してください。

⑤ 寄附金に関する事項

都道府県、市区町村分 (特別控除対象)	円	都道府県	円
住所の共同募金会、日赤支部・都道府県、市区町村分 (特別控除対象以外)	円	市区町村	円

営業等で家内労働者等に該当する人は所得項目を○で囲んでください。

① 収入金額等	事業	営業等	①		円			
	農	業	②					
	不	動	産	③	600,000	円		
	利	子	④					
	配	当	⑤					
	給	与	⑥	750,000	円			
	給	与	⑦					
	公	的	年	金	等	⑧	243,654	円
	雑	業	務	⑨				
	そ	の	他	⑩				
② 所得金額	雑	業	務	⑪				
	短	期	⑫					
	長	期	⑬					
	一	時	⑭					
	事	業	営	業	等	⑮		
	農	業	⑯					
	不	動	産	⑰	400,000	円		
	利	子	⑱					
	配	当	⑲					
	給	与	⑳	100,000	円			
公	的	年	金	等	㉑	133,654	円	
雑	業	務	㉒					
そ	の	他	㉓					
合	計	(⑦+⑧+⑨)	㉔	133,654	円			
総	合	課	渡	・	一	時	㉕	
合	計	(①~⑥+⑩+⑪)	㉖	1,836,543	円			
④ 所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	㉗	146,000	円				
	小規模企業共済等掛金控除	㉘						
	生命保険料控除	㉙	35,000	円				
	地震保険料控除	㉚	12,500	円				
	寡婦、ひとり親除	㉛						
	勤労学生、障害者控	㉜	53,000	円				
	配偶者(特別)控除	㉝	330,000	円				
	扶養控除	㉞	330,000	円				
基礎控除	㉟	430,000	円					
⑬から㉟までの計	㊱	1,813,500	円					
雑	損	控	除	㊲				
医	療	費	控	除	㊳			
合	計	(㊱+㊲+㊳)	㊴	1,813,500	円			

裏面にも記入する欄があります。

⑥ 給与・公的年金等に係る所得以外(令和7年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市民税・県民税の納税方法

給与から差引き(特別徴収) 自分で納付(普通徴収)

通	1. 下記の person から扶養・援助または仕送りを受けていた。	4. 該当項目を○で囲み適用期間を記入してください。
	住所 電話 ()	
信	氏名 続柄	期間 年 月 日 ~ 年 月 日
	2. 遺族年金 障害年金で生活 (該当に○印をつける)	5. 学生(学校名)
欄	3. 預貯金等により生活していた。	6. その他

8〜11ページ参照

5〜7ページ参照

8〜11ページ参照